

審判心得＝大会で主審・線審（負け審含む）をされる方へのご案内です＝

## 主審

本部からスコアシートを受け取り指示されたコートに就きます。線審が位置についているか（座る椅子の位置も：シングルスとダブルスでは担当ラインが違います）を確認し、選手をネット前に呼びスコアシートと照合・挨拶・トスを行います。トスの結果をスコアシートに記入し、試合を開始します（試合前の練習はありません）。

試合が終了したら、勝者にサインをいただき結果のコールをしてから敗者を連れて本部に戻りスコアシートのチェックを受けて終了です。

\*コールは選手にも観客にもはっきりと聞こえるように明瞭かつ大きな声でお願いします。

\*線審の判定を尊重し、アイコンタクトを取ってください。

\*問題が発生した時、自分で対処することが出来ないときは手を挙げて競技役員長をコートに呼んでください。

## 線審

線審（通常、前の試合の勝者）は位置につき（この時、前の試合での椅子の位置が違っている場合は正しい位置に直します）主審の到着を待ちます。

\*試合中は正しい姿勢で競技に集中し素早いジャッジを心掛けます。

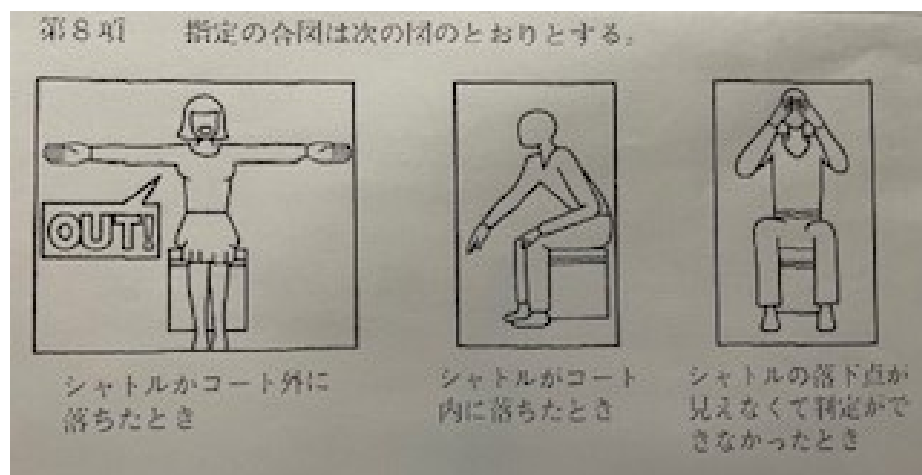
\*イン（無言、右手でラインを指します）・アウト（どんなに遠くても直ちにプレーヤーと観客に

よく聞こえるように、はっきりした大きな声でコールし、同時に主審がよくわかるように両腕を水平に広げ掌は正面に向け合図をします) のジェスチャーを正しく行い、主審とアイコンタクトを取ってから手を膝の位置に戻します

\*シャトルが落下地点で見えなくて判定できなかった時は、両手で目を覆って主審に合図します。

\*シャトルがコート面に触れるまでは、コールや合図をしてはなりません。

## 指定の合図



## 担当ライン

